

高等医药院校教材
(供医学专业用)

中 医 学

第 二 版

杨 医 亚 主 编

刘 德 傅 副 主 编

人 民 卫 生 出 版 社

高等医药院校教材

(供医学专业用)

中 医 学

第 二 版

杨 医 亚 主 编

刘 德 傅 副主编

《中医学》编审小组

组 长：杨医亚 (河北医学院 教授)

副组长：刘德傅 (上海第二医学院 教授)

余永敏 (西安医学院 副教授)

贺志光 (贵阳医学院 讲师)

程化奇 (湖北医学院 讲师)

人 民 卫 生 出 版 社

中 医 学

杨 医 亚 主 编

人 民 卫 生 出 版 社 出 版

(北京市崇文区天坛西里 10 号)

四 川 新 华 印 刷 厂 印 刷

新 华 书 店 北 京 发 行 所 发 行

787×1092毫米16开本 34印张 4 插页 771千字

1980年 1 月第 1 版 1983年11月第 2 版第 1 次印刷

印数: 00,001—43,120

统一书号: 14048·4501 定价: 3.20 元

前 言

根据1981年10月高等医药院校医学专业教材编审委员会会议对中医教学的要求，为使医学专业学生掌握一定的中医基本知识、基本理论和基本技能，并能初步运用中医中药防治常见病、多发病，我们以1980年高等医药院校协作编写试用教材《中医学》为基础，结合近年来各地教学的实践经验，重新编写了本教材。

在编写过程中，我们坚持以辩证唯物主义和历史唯物主义思想为指导，广泛征求各方面的意见，贯彻“少而精”和“理论联系实际”的原则，采取集体讨论，分工编写，共同审定的办法进行的。全部教材分为三个部分，其中基础理论、中药和方剂为第一部分，常见证病为第二部分，针灸为第三部分。在使用本教材时，可根据各院校实际情况，有所增删。

由于时间仓促，水平有限，书中难免还存在很多缺点和不足，希望广大师生通过教学和临床实践，提出宝贵意见，以便进一步充实提高。

另外，在这次编写过程中，上海第二医学院陈大中、夏翔、李行能，贵阳医学院刘丽华、谭自民、张志胜，湖北医学院严汶，河北医学院陈孟恒、李彬之、许占民、王云凯等同志，也参加了具体编写；西安医学院刘茂甫副教授参加了审定稿会议，谨在此表示谢意。

编 者

一九八三年二月

目 录

绪 论	(1)
一、中国医药学发展概况	(1)
(一) 中国医药学起源	(1)
(二) 医药理论体系的确立	(2)
(三) 治疗方法的丰富	(2)
(四) 临床医学的发展	(3)
(五) 预防医学	(6)
(六) 对外交流	(7)
二、中医学的基本特点	(8)
(一) 整体观念	(8)
(二) 辨证论治	(9)
三、中国医药学的发展和展望	(9)
第一部分 基础理论	(11)
第一章 阴阳五行学说	(11)
第一节 阴阳学说	(11)
一、阴阳学说的基本内容	(12)
(一) 阴阳的相互对立	(12)
(二) 阴阳的相互依存	(12)
(三) 阴阳的相互消长	(13)
(四) 阴阳的相互转化	(13)
(五) 阴阳的相对平衡	(13)
二、阴阳学说在中医学中的应用	(13)
(一) 说明人体的组织结构	(14)
(二) 说明人体的生理活动	(14)
(三) 说明人体的病理变化	(14)
(四) 用于疾病的诊断	(14)
(五) 用于疾病的治疗	(15)
(六) 用于指导预防	(15)
第二节 五行学说	(15)
一、五行学说的基本内容	(15)
(一) 对事物属性的五行分类	(15)
(二) 五行的生克乘侮	(16)
二、五行学说在中医学中的应用	(17)
(一) 说明脏腑的生理功能与相互关系	(17)
(二) 说明脏腑间的病理影响	(18)
(三) 用于诊断和治疗	(18)
三、阴阳与五行的关系	(18)
小结	(19)

第二章 藏象	(20)
第一节 脏腑	(20)
一、心与小肠	(20)
(一) 心.....	(20)
附：心包.....	(21)
(二) 小肠.....	(21)
二、肝与胆	(21)
(一) 肝.....	(21)
(二) 胆.....	(23)
三、脾与胃	(23)
(一) 脾.....	(23)
(二) 胃.....	(24)
四、肺与大肠	(24)
(一) 肺.....	(24)
(二) 大肠.....	(25)
五、肾与膀胱	(26)
(一) 肾.....	(26)
附：命门.....	(27)
(二) 膀胱.....	(27)
六、三焦	(28)
附：脑.....	(28)
附：女子胞.....	(29)
第二节 脏腑之间的关系	(29)
一、脏与脏	(29)
二、脏与腑	(30)
三、腑与腑	(31)
第三节 精、气、血、津液、神	(31)
一、气	(32)
(一) 气的生成和运行.....	(32)
(二) 气的功能.....	(32)
(三) 气的分类.....	(33)
二、血	(33)
(一) 血的生成和循行.....	(33)
(二) 血的功能.....	(34)
三、津液	(34)
(一) 津液的生成和输布.....	(34)
(二) 津液的功能.....	(34)
四、神	(35)
五、精、气、血、津液、神的相互关系	(35)
第三章 经络	(37)
第一节 经络的概念、组成及作用	(37)
一、经络的概念	(37)

二、经络的组成	(37)
三、经络的作用	(37)
(一) 生理方面	(37)
(二) 病理方面	(38)
(三) 诊断方面	(38)
(四) 治疗方面	(38)
(五) 预防方面	(38)
第二节 十二经脉	(39)
一、名称分类	(39)
二、循行交接	(39)
三、表里关系	(40)
四、流注次序	(40)
第三节 奇经八脉	(40)
第四节 十五络脉、经穴	(40)
一、十五络脉	(40)
二、经穴	(41)
小结	(41)
第四章 病因	(42)
第一节 六淫	(42)
一、风	(43)
(一) 风邪的性质和特点	(43)
(二) 常见的风证	(43)
二、寒	(44)
(一) 寒邪的性质和特点	(44)
(二) 常见的寒证	(44)
三、暑	(45)
(一) 暑邪的性质和特点	(45)
(二) 常见的暑证	(45)
四、湿	(45)
(一) 湿邪的性质和特点	(46)
(二) 常见的湿证	(46)
五、燥	(46)
(一) 燥邪的性质和特点	(46)
(二) 常见的燥证	(47)
六、火	(47)
(一) 火邪的性质和特点	(47)
(二) 常见的火证	(47)
第二节 疫疔	(47)
第三节 七情	(48)
第四节 饮食、劳倦	(48)
一、饮食	(48)
(一) 饮食不节	(49)

(78)	(二) 饮食不洁·····	(49)
(78)	(三) 饮食偏嗜·····	(49)
(78)	二、劳倦·····	(49)
(82)	第五节 痰饮、瘀血·····	(49)
(82)	一、痰饮·····	(49)
(82)	(一) 痰饮的形成·····	(49)
(82)	(二) 痰饮的证候特点·····	(50)
(82)	二、瘀血·····	(50)
(82)	(一) 瘀血的形成·····	(50)
(82)	(二) 瘀血的证候特点·····	(50)
(82)	第六节 外伤和虫兽伤·····	(51)
(82)	第七节 寄生虫·····	(51)
(82)	小结·····	(51)
(82)	第五章 诊法·····	(52)
(82)	第一节 望诊·····	(52)
(82)	一、望全身情况·····	(52)
(82)	(一) 望神·····	(52)
(82)	(二) 望色·····	(53)
(82)	(三) 望形态·····	(53)
(82)	二、望局部情况·····	(54)
(82)	(一) 望头与发·····	(54)
(82)	(二) 望五官·····	(54)
(82)	(三) 望舌·····	(54)
(82)	(四) 望麻疹·····	(57)
(82)	(五) 望小儿指纹·····	(57)
(82)	第二节 闻诊·····	(58)
(82)	一、听声音·····	(58)
(82)	(一) 语声·····	(58)
(82)	(二) 呼吸·····	(58)
(82)	(三) 咳嗽·····	(59)
(82)	(四) 呃逆、嗝气·····	(59)
(82)	二、嗅气味·····	(59)
(82)	第三节 问诊·····	(59)
(82)	一、问寒热·····	(60)
(82)	(一) 恶寒发热·····	(60)
(82)	(二) 但寒不热·····	(60)
(82)	(三) 但热不寒·····	(60)
(82)	(四) 寒热往来·····	(60)
(82)	二、问汗·····	(61)
(82)	(一) 有汗、无汗·····	(61)
(82)	(二) 汗出时间·····	(61)
(82)	(三) 汗出部位·····	(61)

三、问痛·····	(61)
(一) 疼痛的部位·····	(61)
(二) 疼痛的性质·····	(62)
四、问饮食口味·····	(62)
(一) 食欲与食量·····	(63)
(二) 口渴与饮水·····	(63)
(三) 口味·····	(63)
五、问睡眠·····	(63)
六、问二便·····	(63)
(一) 大便·····	(63)
(二) 小便·····	(64)
七、问经带·····	(64)
(一) 月经·····	(64)
(二) 带下·····	(64)
八、问小儿·····	(64)
第四节 切诊·····	(65)
一、脉诊·····	(65)
(一) 诊脉的部位与方法·····	(65)
(二) 正常脉象·····	(66)
(三) 病脉与主病·····	(66)
(四) 相兼脉与主病·····	(68)
二、按诊·····	(69)
(一) 按肌肤·····	(69)
(二) 按手足·····	(69)
(三) 按脘腹·····	(69)
小结·····	(69)
第六章 辨证·····	(70)
第一节 八纲辨证·····	(70)
一、表里·····	(70)
(一) 表证·····	(70)
(二) 里证·····	(71)
(三) 表证与里证的关系·····	(71)
二、寒热·····	(71)
(一) 寒证·····	(71)
(二) 热证·····	(71)
(三) 寒证与热证的鉴别·····	(71)
(四) 寒证与热证的关系·····	(72)
三、虚实·····	(72)
(一) 虚证·····	(72)
(二) 实证·····	(73)
(三) 虚证与实证的鉴别·····	(73)
(四) 虚证与实证的关系·····	(73)

四、阴阳·····	(74)
(一) 阴证与阳证·····	(74)
(二) 亡阴与亡阳证·····	(74)
五、八纲之间的相互关系·····	(74)
第二节 脏腑辨证·····	(75)
一、心与小肠病辨证·····	(75)
(一) 心病辨证·····	(76)
(二) 小肠病辨证·····	(77)
二、肺与大肠病辨证·····	(77)
(一) 肺病辨证·····	(77)
(二) 大肠病辨证·····	(78)
三、脾与胃病辨证·····	(79)
(一) 脾病辨证·····	(79)
(二) 胃病辨证·····	(80)
四、肝与胆病辨证·····	(81)
(一) 肝病辨证·····	(81)
(二) 胆病辨证·····	(83)
五、肾与膀胱病辨证·····	(83)
(一) 肾病辨证·····	(84)
(二) 膀胱病辨证·····	(85)
六、脏腑兼病辨证·····	(85)
第三节 六经辨证·····	(87)
一、太阳病证·····	(87)
二、阳明病证·····	(88)
三、少阳病证·····	(89)
四、太阴病证·····	(89)
五、少阴病证·····	(90)
六、厥阴病证·····	(90)
第四节 卫气营血辨证·····	(90)
一、卫分证·····	(91)
二、气分证·····	(92)
三、营分证·····	(92)
四、血分证·····	(93)
第五节 三焦辨证·····	(93)
小结·····	(95)
第七章 治则与治法·····	(95)
第一节 治疗原则·····	(95)
一、治病求本·····	(95)
二、正治反治·····	(96)
三、标本缓急·····	(96)
四、扶正祛邪·····	(97)
五、同病异治、异病同治·····	(97)

六、因时、因地、因人制宜·····	(97)
第二节 治法·····	(98)
一、汗法·····	(98)
二、吐法·····	(98)
三、下法·····	(99)
四、和法·····	(99)
五、温法·····	(99)
六、清法·····	(100)
七、消法·····	(100)
八、补法·····	(100)
小结·····	(100)
第八章 中药·····	(102)
第一节 中药基本知识·····	(102)
一、中药的命名·····	(102)
二、中药的采集、干燥和贮存·····	(102)
(一) 采集·····	(102)
(二) 干燥·····	(103)
(三) 贮存·····	(103)
三、中药的炮制·····	(103)
(一) 炮制的意义·····	(103)
(二) 炮制的方法·····	(103)
四、中药的性能·····	(105)
(一) 四气五味·····	(105)
(二) 归经·····	(106)
(三) 升降浮沉·····	(106)
五、中药的用法·····	(107)
(一) 配伍·····	(107)
(二) 禁忌·····	(108)
(三) 中药的用量·····	(108)
(四) 中药的煎服法·····	(109)
第二节 常用中药·····	(109)
一、解表药·····	(109)
(一) 辛温解表药: 麻黄 桂枝 荆芥 防风 羌活 白芷 细辛 生姜·····	(110)
(二) 辛凉解表药: 柴胡 薄荷 葛根 菊花 牛蒡子 桑叶 升麻 蔓荆子 蝉衣 淡豆豉·····	(113)
二、祛风湿药·····	(117)
独活 秦艽 威灵仙 木瓜 海风藤 稀莪草 防己 五加皮 桑寄生 伸筋草·····	(118)
三、祛湿药·····	(122)
(一) 化湿燥湿药: 藿香 佩兰 香薷 苍术 白扁豆·····	(122)
(二) 淡渗利水药: 茯苓 猪苓 泽泻 薏苡仁 草薢·····	(124)
(三) 清热利湿药: 茵陈 木通 车前子 滑石 金钱草 海金沙 篇蓄 石苇 瞿麦 冬瓜皮·····	(126)

四、清热药	(130)
(一) 清热泻火药: 石膏 知母 栀子 龙胆草 芦根	(130)
(二) 清热解毒药: 金银花 连翘 大青叶 板蓝根 蒲公英 紫花地丁 败酱草 白头翁 秦皮 山豆根 射干 马勃 鱼腥草 马齿苋 白花蛇舌草 蚤休	(132)
(三) 清热凉血药: 生地 牡丹皮 犀角 紫草 玄参 丝瓜络	(138)
(四) 清热燥湿药: 黄芩 黄连 黄柏 白藓皮 苦参	(141)
(五) 清热解暑药: 荷叶 绿豆 青蒿	(143)
(六) 清热明目药: 决明子 谷精草 青箱子 夏枯草	(144)
(七) 清虚热药: 银柴胡 地骨皮 白薇 胡黄连	(145)
五、消导药	(147)
山楂 神曲 麦芽 谷芽 鸡内金 莱菔子	(147)
六、催吐药	(149)
瓜蒂 藜芦	(149)
七、泻下药	(150)
(一) 攻下药: 大黄 芒硝 番泻叶	(150)
(二) 润下药: 郁李仁 火麻仁	(151)
(三) 逐水药: 大戟 甘遂 商陆 巴豆 牵牛子	(152)
八、祛痰止咳药	(154)
(一) 清化热痰药: 前胡 桔梗 贝母 葶苈子 天竺黄 竹茹 昆布 海藻	(155)
(二) 温化寒痰药: 半夏 天南星 旋复花 白前 桔梗	(158)
(三) 止咳平喘药: 款冬花 紫苑 百部 杏仁 枇杷叶 桑白皮 海浮石 瓦楞子	(160)
九、温里药	(163)
干姜 附子 肉桂 吴茱萸 小茴香	(163)
十、理气药	(165)
陈皮 青皮 枳实 香附 木香 乌药 砂仁 厚朴 薤白 苦楝子 大腹皮	(165)
十一、理血药	(169)
(一) 活血药: 川芎 丹参 桃仁 红花 延胡索 郁金 赤芍 鸡血藤 泽兰 五灵脂 穿山甲 王不留行 水蛭 虻虫 三棱 莪术 益母草 牛膝 姜黄 乳香 没药	(169)
(二) 止血药: 蒲黄 仙鹤草 白芨 大、小蓟 茜草 白茅根 地榆 槐花 血余炭 藕节 陈棕炭 旱莲草 三七 艾叶 侧柏叶	(178)
十二、补益药	(183)
(一) 补气药: 人参 党参 黄芪 白术 山药 大枣 甘草	(184)
(二) 补血药: 熟地 阿胶 何首乌 当归 白芍 龙眼肉 紫河车	(187)
(三) 补阴药: 沙参 麦冬 天门冬 石斛 百合 玉竹 枸杞子 女贞子 龟板 鳖甲	(190)
(四) 补阳药: 鹿角 补骨脂 巴戟天 菟丝子 续断 杜仲 淫羊藿 狗脊 益智仁 肉苁蓉 冬虫夏草	(194)
十三、固涩药	(198)
(一) 止汗药: 浮小麦 麻黄根 五味子 山萸肉	(198)
(二) 涩肠止泻药: 乌梅 肉豆蔻	(200)

(三) 固精、止带、缩尿药: 金樱子 芡实 桑螵蛸 海螵蛸·····	(201)
十四、平肝熄风药·····	(202)
羚羊角 全蝎 蜈蚣 天麻 僵蚕 钩藤 代赭石 石决明 地龙·····	(203)
十五、安神药·····	(206)
(一) 重镇安神药: 朱砂 磁石 琥珀 龙骨 牡蛎·····	(206)
(二) 养血安神药: 酸枣仁 柏子仁 远志 夜交藤·····	(208)
十六、开窍药·····	(210)
麝香 牛黄 冰片 苏合香 菖蒲·····	(210)
十七、驱虫药·····	(212)
使君子 槟榔 苦楝根皮 雷丸 南瓜子 大蒜 鸦胆子·····	(212)
十八、外用药·····	(215)
硫磺 雄黄 轻粉 白矾 硼砂 樟脑 血竭 蟾酥 蓖麻子·····	(215)
第九章 方剂 ·····	(219)
第一节 方剂概说·····	(219)
一、方剂的组成及其变化·····	(219)
(一) 组成原则·····	(219)
(二) 组成变化·····	(219)
二、方剂的剂型·····	(220)
(一) 汤剂(煎剂)·····	(220)
(二) 丸剂·····	(220)
(三) 散剂·····	(220)
(四) 膏剂·····	(220)
(五) 丹剂·····	(220)
(六) 酒剂·····	(221)
(七) 糖浆剂·····	(221)
三、治法与方剂·····	(221)
第二节 常用方剂·····	(221)
一、解表剂·····	(221)
麻黄汤 桂枝汤 银翘散 麻杏石甘汤·····	(221)
二、祛风剂·····	(223)
川芎茶调散 玉真散 牵正散 独活寄生汤·····	(224)
三、祛湿剂·····	(226)
藿香正气散 平胃散 三仁汤 五苓散 甘露消毒丹 茵陈蒿汤 八正散 真武汤	
附: 实脾饮·····	(226)
四、清热剂·····	(230)
白虎汤 清营汤 犀角地黄汤 普济消毒饮 五味消毒饮 清暑益气汤 白头翁汤	
龙胆泻肝汤 养阴清肺汤 青蒿鳖甲汤·····	(231)
五、和解剂·····	(236)
小柴胡汤 逍遥散 附: 四逆散 痛泻要方 半夏泻心汤·····	(236)
六、消导剂·····	(238)
保和丸 枳实导滞丸·····	(238)
七、催吐剂·····	(239)

瓜蒂散	(239)
八、泻下剂	(240)
大承气汤 温脾汤 麻子仁丸 十枣汤	(240)
九、化痰止咳剂	(242)
二陈汤 清气化痰丸 贝母瓜蒌散 止嗽散 小青龙汤	(242)
十、温里剂	(244)
理中丸 小建中汤 四逆汤	(244)
十一、理气剂	(245)
越鞠丸 栝蒌薤白白酒汤 苏子降气汤 旋复代赭石汤	(246)
十二、理血剂	(247)
血府逐瘀汤 生化汤 补阳还五汤 槐花散 黄土汤 小蓟饮子	(248)
十三、补益剂	(250)
四君子汤 补中益气汤 四物汤 归脾汤 生脉散 六味地黄丸 肾气丸	(250)
十四、固涩剂	(253)
牡蛎散 金锁固精丸 四神丸 清带汤	(254)
十五、熄风剂	(255)
镇肝熄风汤 羚角钩藤汤 附：阿胶鸡子黄汤	(255)
十六、安神剂	(256)
酸枣仁汤 安神丸	(256)
十七、开窍药	(257)
安宫牛黄丸 至宝丹 紫雪丹 苏合香丸	(257)
十八、驱虫剂	(259)
乌梅丸 附：胆蛔汤	(259)
十九、外用剂	(260)
金黄散 锡类散	(260)
第二部分 常见证、病	(261)
第一章 常见证	(261)
发热	(261)
咳嗽	(264)
喘证	(267)
饮证	(269)
胃脘痛 (附：吐酸、嘈杂)	(271)
胸胁痛	(273)
腹痛	(276)
呕吐	(279)
泄泻	(281)
痢疾	(284)
便秘	(286)
黄疸	(288)
腹胀	(291)
心悸	(293)
失眠	(296)
眩晕	(297)

头痛	(299)
中风	(302)
厥证	(305)
血证	(308)
水肿	(313)
淋证	(316)
消渴	(318)
腰痛	(320)
遗精	(321)
郁证	(323)
癫狂	(324)
痫证	(326)
痿证	(327)
痹证	(329)
疟疾	(331)
第二章 常见病	(334)
第一节 传染病	(334)
感冒、流行性感冒	(334)
流行性乙型脑炎	(335)
流行性脑脊髓膜炎	(337)
病毒性肝炎	(338)
第二节 内科病	(340)
支气管炎	(340)
大叶性肺炎	(342)
肺结核病	(343)
高血压病	(344)
冠状动脉粥样硬化性心脏病	(346)
慢性肺原性心脏病	(348)
消化性溃疡	(349)
肝硬化	(351)
肾炎	(352)
肾盂肾炎	(355)
尿毒症	(356)
再生障碍性贫血	(357)
第三节 妇科病	(359)
概述	(359)
一、妇女的生理特点	(359)
(一) 胞宫	(359)
(二) 月经	(360)
(三) 妊娠与分娩	(360)
二、妇女的病理特点	(360)
(一) 脏腑功能失常	(360)

(二) 气血失调	(361)
(三) 冲、任、督、带损伤	(361)
三、妇科病的诊断要点	(362)
(一) 问诊	(362)
(二) 望诊	(362)
(三) 闻诊	(362)
(四) 切诊	(362)
四、防治	(363)
(一) 预防	(363)
(二) 治疗	(363)
月经不调	(364)
月经先期	(364)
月经后期	(365)
月经先后无定期	(366)
月经过多	(367)
月经过少	(368)
闭经	(368)
崩漏	(370)
痛经	(372)
带下	(373)
子宫脱垂	(375)
盆腔炎	(376)
急性盆腔炎	(376)
慢性盆腔炎	(377)
不孕症	(377)
恶阻	(379)
滑胎	(380)
恶露不净	(381)
缺乳	(382)
产后自汗、盗汗	(383)
第四节 儿科病	(383)
概述	(383)
一、小儿的生理、病理特点	(384)
(一) 生理特点	(384)
(二) 病理特点	(384)
二、诊断要点	(385)
(一) 望诊	(385)
(二) 闻诊	(386)
(三) 问诊	(387)
(四) 切诊	(387)
三、治疗宜禁	(387)
(一) 用药及时	(388)
(二) 慎重投药	(388)

(383)	(三) 多种治法配合应用·····	(388)
(384)	(四) 选择剂型, 灵活给药·····	(388)
(384)	麻疹·····	(388)
(384)	疟腮·····	(390)
(384)	百日咳·····	(391)
(384)	惊风·····	(392)
(384)	急惊风·····	(392)
(384)	慢惊风·····	(394)
(384)	疳积·····	(395)
(384)	第五节 外科病·····	(396)
(384)	概述·····	(396)
(384)	一、病因病机·····	(396)
(384)	二、诊断·····	(396)
(384)	(一) 运用四诊搜集病史资料·····	(397)
(384)	(二) 辨明疾病部位和证候属性·····	(398)
(384)	三、治法·····	(400)
(384)	(一) 内治法·····	(400)
(384)	(二) 外治法·····	(401)
(384)	疖·····	(402)
(384)	疔疮·····	(403)
(384)	痈·····	(404)
(384)	疽·····	(405)
(384)	丹毒·····	(407)
(384)	流注·····	(407)
(384)	乳痈·····	(408)
(384)	瘰癧·····	(409)
(384)	脱疽·····	(410)
(384)	痔疮·····	(411)
(384)	湿疹·····	(413)
(384)	荨麻疹·····	(414)
(384)	第六节 急腹症·····	(415)
(384)	急性阑尾炎·····	(415)
(384)	急性肠梗阻·····	(417)
(384)	胆道蛔虫病·····	(418)
(384)	急性胆囊炎与胆石症·····	(419)
(384)	急性胰腺炎·····	(420)
(384)	第七节 肿瘤·····	(421)
(384)	概述·····	(421)
(384)	肺癌·····	(423)
(384)	食管癌·····	(425)
(384)	胃癌·····	(426)
(384)	原发性肝癌·····	(427)